

第2回骨粗鬆症サポーター協議会

平成30年12月1日（土） ウェルス幸手 研修室

開会挨拶

北葛北部医師会 地域医療部会 理事 堀中晋

北葛北部医師会は今年平成30年の春に骨粗鬆症サポーター制度を立ち上げ、第1回の骨粗鬆症サポーター協議会を平成30年7月7日に行いました。その席でこの協議会は主体はサポーターであり、先ずはこの地域で最初に骨粗鬆症マネージャーの資格を取った石飛さんと既にOLS活動をしている施設のサポーターが中心になって運営していただくことが満場一致で決まりました。今回はその趣旨を受けて東埼玉総合病院の石飛骨粗鬆症マネージャーさんを中心に骨粗鬆症サポーターの代表の方々と協議した結果、グループワーキングという新しい形で行うことになりました。

私はこの10月に長崎で行われた日本骨粗鬆症学会に参加してきました。骨粗鬆症マネージャーは全国では大勢誕生していますが骨粗鬆症のリエゾン活動を今後どのように活動すべきか、また各施設間の連携はまだ十分になされていないのが現状であり、それを模索する手法が新潟市で始まったグループワーキングというスタイルで全国でなされていることを勉強して参りました。このことから骨粗鬆症サポーター協議会を今後進めるには今回のグループワーキングという手法が一番アップ・トゥー・デートであり本日参加の皆さんのディスカッションから実のある結果が生まれることを願っております。

また北葛北部医師会能美会長から骨粗鬆症の骨吸収抑制剤の歯科の侵襲手術の際の休薬の是非等に関してこの地域ではまだ十分に医科歯科連携が上手くいっていない現状があり、今後この会でも医科歯科連携がスムーズになされるように活動していただきたいと提案がありましたので、議論の一つに加えていただければと思います。

また幸手市、杉戸町の市町境の久喜市の医療機関にも当該地域の患者さんが往来しておりますので、本日は幸手市、杉戸町近傍の久喜市の東鷲宮病院、県西在宅クリニックの先生、パラメディカルの方々にもこの会に参加いただいております。一緒にディスカッションに加わって今後骨粗鬆症リエゾン活動を共に行っていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。